

「第3次小牧市障がい者計画」「第5期小牧市障がい福祉計画」の策定にあたって

アンケートについてのお願い

皆様には、日頃から福祉行政の推進にご協力をたまわり、厚くお礼を申し上げます。小牧市では、障がいのある方々の生活全般の向上をめざして、平成28・29年度の2年をかけて「第3次小牧市障がい者計画」および「第5期小牧市障がい福祉計画」の策定を行います。

平成25年4月1日から、難病に罹患しておられる方々が障害者総合支援法のサービス等を受けることができるようになりました。また、対象となる疾病が大幅に拡大されました。このため、市内にお住まいの難病患者の方々にこの調査票をお送りさせていただきました。お忙しいところお手数をおかけしますが、安心して暮らせる福祉社会の実現のための基礎資料として活用させていただきますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、結果の集計、分析は統計的に行いますので、個人のプライバシーがもれることは決してございません。

平成29年1月

小牧市長 山下 史守朗

▷ご記入の前に

- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して代わってご回答ください。
- ・点字を使用しておられる方は、点字版アンケートをお送りしますので、福祉課までご連絡ください。
- ・平成29年1月1日現在の内容でご記入ください。
- ・答えたくない設問は無回答のまま、次の設問にすすんでください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的に書いてください。

▷調査票の返送について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、1月○日までに投函してくださいませようお願いいたします。

▷調査についてのお問い合わせ

小牧市地域福祉課 ☎ 76-1127 担当：梅村、生駒
FAX 76-4595

あなたの年齢、ご家族などについておたずねします。

問1 あなたの年齢は満何歳ですか。

満 歳

問2 あなたの性別は。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの世帯は次のどれですか。(○は1つ)

1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみの世帯 3. その他の世帯

問4 あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる校区の1つに○をつけてください。わからないときは町名を記入してください。

1. 小牧小学校区 2. 村中小学校区 3. 小牧南小学校区 4. 三ッ淵小学校区
5. 味岡小学校区 6. 篠岡小学校区 7. 北里小学校区 8. 米野小学校区
9. 一色小学校区 10. 小木小学校区 11. 小牧原小学校区 12. 本庄小学校区
13. 桃ヶ丘小学校区 14. 陶小学校区 15. 光ヶ丘小学校区
16. 大城小学校区 17. わからない(町名)

問5 現在の住まいは、次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 持ち家(マンションを含む) 2. 借家(マンションを含む)・アパート
3. 公営住宅 4. 社宅・公務員住宅 5. その他()

あなたの障がいの種別、程度についておたずねします。

問6 あなたは、身体障害者手帳を持っていますか。(○は1つ)

1. 持っている 2. 持っていない

問7 あなたが難病とわかったのは何歳ごろですか。

歳ごろ

問8 あなたは、障害者総合支援法による障害支援区分認定を受けていますか。(○は1つ)

1. 受けている 2. 受けていない

問9 障害支援区分認定を「1. 受けている」と答えた方におたずねします。区分は次のどれですか。(○は1つ)

1. 区分1 2. 区分2 3. 区分3 4. 区分4 5. 区分5 6. 区分6

問10 40歳以上の方(40歳未満の方は問13へ)におたずねします。あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。(○は1つ)

1. 受けている 2. 受けていない → 問13へ

問11 介護保険の要介護認定を「1. 受けている」と答えた方におたずねします。要介護度はつぎのどれですか。(○は1つ)

1. 要支援 1 2. 要支援 2
3. 要介護 1 4. 要介護 2 5. 要介護 3 6. 要介護 4 7. 要介護 5

問12 介護保険の要介護認定を「1. 受けている」と答えた方におたずねします。介護保険のサービスを利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している 2. 利用していない

生活費・収入についておたずねします。

問13 あなたは何により生活費を得ていますか。(○はいくつでも)

1. 就労(給料・自営業) 2. 預金・貯金 3. 同居家族による扶養
4. 仕送り 5. 障害年金 6. 障害年金以外の年金
7. 障がい者手当 8. 生活保護 9. その他()

問14 今のあなたの収入(税込みの総収入)は、1年にどの程度ですか。(○は1つ)

1. 30万円未満 2. 30万円～80万円未満 3. 80万円～150万円未満
4. 150万円～300万円未満 5. 300万円～400万円未満
6. 400万円～500万円未満 7. 500万円以上

日常生活の支援についておたずねします。

問15 どのような支援が必要ですか。(○はいくつでも)

1. 入浴介助 2. 衣服の着脱介助 3. 食事介助 4. トイレ介助
5. 炊事掃除などの家事援助 6. 外出の付き添い(通院を含む)、送迎
7. 代読・代筆 8. 手話通訳・要約筆記 9. 金銭管理や生活の見守り
10. その他() 11. 支援は必要ない

問16 問15で「1. ～10.」に1つでも○をつけられた方におたずねします。支援に必要な日数は、1週間のうち何日くらいですか。(○は1つ)

1. 1日 2. 週に2日～3日 3. 週に4日～6日 4. 毎日

問17 家族のなかで主に介助・支援をしている方は次のうちどなたですか。(○は1つ)

1. 配偶者 2. 親 3. 子ども 4. 兄弟姉妹 5. その他の家族 6. いない

問18 問17で「1. ～5.」と答えた方におたずねします。主な介助・支援者の性別は。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性

問19 問17で「1. ～5.」と答えた方におたずねします。主な介助・支援者の年齢はおいくつですか。(○は1つ)

1. 30歳未満 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

問20 問17で「1. ～5.」と答えた方におたずねします。主な介助・支援者の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

1. フルタイムで働いている 2. パートタイムで働いている
3. 働いていない

※「パートタイム」とは、いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」で労働時間の短い方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

医療についておたずねします。

問21 現在の難病に関する受診状況は、次のどれですか。(○は1つ)

1. 入院している 2. 通院している 3. 往診を受けている 4. 受けていない

問22 現在利用している公費負担医療制度は何ですか。(○はいくつでも)

1. 難病医療法による指定難病の医療費助成 2. 小児慢性特定疾病の医療費助成
3. 障害者総合支援法による医療費助成 4. 生活保護法による医療扶助
5. 高額医療費助成制度による医療費助成 6. その他 ()
7. わからない 8. 利用していない

問23 医療のことで、なにか困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. 通院するとき付き添いをしてくれる人がいない 2. 医師に病気の症状が正しく伝えられない
3. 医師の指示などがむずかしくてよくわからない 4. 専門的な治療を行ってくれる医療機関が近くにない
5. 入院医療費の負担が大きい 6. 通院医療費の負担が大きい
7. 交通費の負担が大きい 8. 通院のための休みがとりにくい
9. とくに困っていることはない 10. その他 ()

日中の活動についておたずねします。

問24 日中の過ごし方や仕事についておたずねします。現在、日中は主にどのように過ごしていますか。(〇は1つ)

- 1. 正職員として働いている
- 2. 正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、派遣職員、日雇いなど）として働いている
- 3. 自営業をしている（家の仕事を手伝っている）
- 4. 障がい者のための通所サービス（就労継続支援、作業所など）を利用して働いている
- 5. 介護保険の通所サービスを利用している
- 6. 障がい者のための通所サービス（生活介護など）を利用している。
- 7. 病院等のデイケアを利用している
- 8. リハビリテーションを受けている
- 9. 学校に通っている
- 10. ボランティアなどの社会活動を行っている
- 11. その他（ ）
- 12. 家庭内で過ごしている

問28へ

問25 現在働いている方（問24で1～4と答えた方）におたずねします。現在の仕事はどのようにして見つけましたか。(〇は1つ)

- 1. 一般募集
- 2. 現在の職場にいるときに病気になり、継続して働いている
- 3. 学校（卒業時）からの紹介
- 4. ハローワークからの紹介
- 5. 事業所（就労継続支援、作業所、相談支援事業所など）からの紹介
- 6. その他（ ）

問26 現在働いている方（問24で1～4と答えた方）におたずねします。現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(〇は1つ)

- 1. 6か月未満
- 2. 6か月以上1年未満
- 3. 1年以上3年未満
- 4. 3年以上5年未満
- 5. 5年以上

問27 現在働いている方（問24で1～4と答えた方）におたずねします。仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。(〇は1つ)

- 1. たいへん困っている → 困っていること
- 2. 少しは困っているが対応できる
- 3. とくにない

問28 今後、日中はどのように過ごしたいと考えていますか。(○は1つ)

1. 現在と同じように過ごしたい
2. 現在とは違う日中の過ごし方をしたい

問29 問28で「2. 現在とは違う日中の過ごし方をしたい」と答えた方におたずねします。今後、主に日中をどのように過ごしたいですか。(○は1つ)

1. 正職員として働きたい
2. 正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、派遣職員、日雇いなど）として働きたい
3. 自営業をしたい（家の仕事を手伝いたい）
4. 障がい者のための通所サービス（就労継続支援、作業所など）を利用して働きたい
5. 障がい者のための通所サービス（生活介護など）を利用したい
6. 介護保険の通所サービスを利用したい
7. 病院等のデイケアを利用したい
8. リハビリテーションを受けたい
9. 学校に通いたい
10. ボランティアなどの社会活動を行いたい
11. その他（ ）
12. 家庭内で過ごしたい
13. わからない

外出・街づくりについておたずねします。

問30 あなたは過去1年間にどれくらい外出しましたか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日
2. 週3～4回
3. 週1～2回
4. 月1～2回
5. 年に数回
6. ほとんど外出していない

問31 外出のときの主な交通手段はなんですか。(○はいくつでも)

1. 徒歩
2. 自転車
3. 車いす
4. 電車
5. バス
6. タクシー
7. 自家用車（自分で運転）
8. 自家用車（乗せてもらう）
9. バイク
10. その他（ ）

問32 外出の目的はなんですか。(○はいくつでも)

1. 通勤
2. 通学
3. 通院
4. 買物
5. 地区の行事
6. 施設利用
7. 習い事、趣味
8. スポーツ
9. 旅行
10. 友人・知人宅への訪問
11. その他（ ）

問33 小牧市はここ5年間にバリアフリー化が進んだと感じますか。(○は1つ)

1. たいへん進んだ
2. やや進んだ
3. あまり進んでいない
4. まったく進んでいない

問34 あなたが、市内に買い物や用事で出かけるときに、駅、店、公共施設について困ったり、不便に感じることはありますか。(○はいくつでも)

1. 電車の乗り降りがたいへんである
2. バスの乗り降りがたいへんである
3. 公共施設などへの案内表示がわかりにくい
4. 公共施設の階段に手すりやエレベーターがないなど不自由である
5. 公共施設などの段差が気になる
6. 商店などの段差が気になる
7. 障がい者用の駐車場が少ない
8. 横断歩道を渡るのがたいへん
9. 公衆トイレの数が少ない
10. 公共施設などのトイレが使いにくい
11. 街かどに休憩できるようなベンチなどが無い
12. その他 ()
13. とくに困ったり不便に感じることはない

地域活動についておたずねします。

問35 あなたは、現在どの程度近所付き合いをしていますか。(○は1つ)

1. とても親しく付き合っている
2. わりと親しく付き合っている
3. 付き合いはしているがそれほど親しくはない
4. ほとんどもしくは全く付き合っていない

問36 あなたは地域の活動や行事にどの程度参加していますか。(○は1つ)

1. 積極的に参加している
2. ほどほどに参加している
3. あまり参加していない
4. 参加していない

問37 あなたの住んでいる地域(小学校区)は住みやすいと思いますか。(○は1つ)

1. とても住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みづらい
5. とても住みづらい

地震などの災害時のことについておたずねします。

問38 地震などの災害時に避難できますか。(○は1つ)

1. 一人でできると思う
2. 支援者がいればできる
3. できないと思う
4. わからない

問39 地震などの災害時にすぐに困ると思われることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 災害の状況がわからない
2. 誰に救助を求めたらいいかわからない
3. 避難所がわからない
4. 家族などに連絡をとれない
5. その他 ()
6. とくにない

問40 災害時に、避難所等で困ると思われることは何ですか。(○はいくつでも)

1. トイレのこと
2. プライバシー保護のこと
3. コミュニケーションのこと
4. 介助してくれる人のこと
5. 薬や医療のこと
6. 補装具や日常生活用具のこと
7. その他 ()
8. とくにない

困っていることなどについておたずねします。

問41 医療・福祉サービスや就労、生活上の困りごとなどのことで、家族のほかに相談する人がいますか。(○はいくつでも)

1. 民生委員・児童委員
2. (身体・知的) 障害者相談員
3. 市役所の相談窓口
4. 保健所・保健センター
5. 医療機関
6. 福祉サービス事業所の職員やヘルパー
7. 相談支援事業所
8. 社会福祉協議会
9. 公共職業安定所(ハローワーク)
10. 同じ障がいのある人の団体・グループ
11. 学校
12. その他()
13. 相談するところがない
14. どこに相談に行ったらよいかわからない

問42 あなたは、この5年間に病気のために差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか。(○は1つ)

1. ない
2. ある
- さしつかえなければ、それはどんなことか書いてください。

→

問43 問42で「2. ある」と答えた方におたずねします。それはどのような場面でしたか。(○はいくつでも)

1. 職場
2. 学校
3. 行政機関
4. 地域社会
5. 家庭
6. その他()

問44 あなたは、次の言葉の意味を知っていますか。(それぞれ1つに○)

区 分	1. 知っている	2. 聞いたことはある が意味は知らない	3. 知らない
①合理的配慮(の提供)	1.	2.	3.
②インクルーシブ教育	1.	2.	3.
③インクルージョン	1.	2.	3.

※①合理的配慮(の提供)：障害のある人が他の人と同様に生活し社会参加できるように、必要な環境整備などを行うこと。

②インクルーシブ教育：同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある児童生徒に対して最も確にこたえる指導を提供できる多様で柔軟な仕組みの中で行われる教育。

③インクルージョン(ソーシャルインクルージョン)：社会的に弱い立場にある人々を社会の一員として包み支え合うという考え方。

問45 障がいと障がいのある人への理解を深めるために何が必要とお考えですか。(○はいくつでも)

1. マスメディアを活用した広報活動
2. 障がい者イベントへの参加・協力
3. 小・中学校における交流教育
4. ボランティア活動を通じた交流
5. 市民を対象とした福祉講座の開催
6. その他()

障がい福祉サービスなどについておたずねします。

問46 次の障がい福祉サービス（自立支援給付）のうち、地域で暮らしていく上で、今後利用したいサービスまたは充実するといいいサービスはどれですか。（〇はいくつでも）

1. 居宅介護（ホームヘルプ）	ヘルパーが、家に来て、身の回りの手伝いをしてくれます。
2. 重度訪問介護	ヘルパーが、体に重い障がいのある人の家に来て、日常生活や外出の手伝いをしてくれます。
3. 同行援護	重い障がいのある人（視覚障がい者）に、ヘルパーが移動に必要な情報の提供（代筆・代読を含む）、移動の援護等の外出する手伝いをしてくれます。
4. 行動援護	重い障がいのある人のことをよくわかっているヘルパーがそばにいて、安心して外出し活動できるよう、支援してくれます。
5. 生活介護	施設で、日中活動の支援を受けることができます。
6. 自立訓練	体をうまく動かすことができるように訓練を受けたり、地域での生活で困らないように自分で身の回りのことをする訓練を受けることができます。
7. 就労移行支援	会社に就職するための訓練を受けることができます。仕事探しの相談にものってもらえます。
8. 就労継続支援	会社以外の場所で、支援を受けながら働くことができます。
9. 療養介護	重い障がいのある人が、入院して医療を受けながら、日常生活の手伝いを受けることができます。
10. 短期入所（ショートステイ）	家族に用事があるときなどに、施設に短期間とまることができます。
11. 共同生活援助（グループホーム）	障がいのある人たちが、アパートや家で一緒に暮らします。世話人や生活支援員から、日常生活の手伝いを受けることができます。
12. 補装具	車いす、義肢、補聴器などの給付を受けることができます。
13. 計画相談支援（サービス等利用計画）	相談支援事業所の相談支援専門員が、総合的な支援のための計画を作成してくれます。サービス事業所等との連絡調整もしてくれます。

問47 次のサービス（地域生活支援事業）のうち、地域で暮らしていく上で、今後利用したいサービスまたは充実するといいいサービスはどれですか。（〇はいくつでも）

1. 相談支援	困ったことがあるときや、新しくサービスを利用したいときに、相談にのってくれます。
2. 成年後見制度利用支援	障がいのある人の権利や財産を守るための成年後見制度が利用できない人にかわって、利用できるように申立てをし、申立ての経費を負担してくれます。
3. 意思疎通支援	手話通訳者や要約筆記者が話の内容がわかるように支援してくれます。
4. 移動支援	ヘルパーが、外出する手伝いをしてくれます。
5. 地域活動支援センター	障がいのある人が、日中活動の支援をしてもらえます。
6. 日中一時支援	家族の一時的な負担を減らすために活動の場を確保してくれます。
7. 訪問入浴サービス	入浴車が家に来て、入浴サービスをしてくれます。
8. 日常生活用具	紙おむつやストマ用装具などの給付を受けることができます。

問48 あなたが、暮らしやすくなるために、とくにしてほしいことはどのようなことですか。

すぐにしてほしいと思われることに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 毎日の生活の手助けがもっとほしい
2. 外出(買物、映画など)の支援をしてほしい
3. 障がい者に対するまわりの人の理解を深めてほしい
4. 障がいのある人の働ける一般企業を増やしてほしい
5. 一般企業で働くことが難しいので、生活介護、デイサービス等を増やしてほしい
6. ジョブコーチ制度を充実させてほしい
7. リハビリ訓練の場所を増やしてほしい
8. 障がいに適した設備を持った住宅を用意してほしい
9. 外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい
10. グループホームを整備してほしい
11. いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい
12. 年金などの経済的な援助を増やしてほしい
13. スポーツ・レクリエーション・文化活動に対する援助をしてほしい
14. いまある制度をもっとわかりやすく紹介してほしい
15. その他()
16. とくにない

問49 このアンケートにご記入いただいたのはどなたですか。(○は1つ)

1. 本人
2. 家族
3. その他()

現在の生活で、困っていることや改善してほしいことなどがあればご記入ください。

ご協力ありがとうございました